

はじめに

私は、地球国生まれ、日本在住です。

地球には国境があります。が、人間が地球の中に国境を、定めただけです。

地球構成員は、海、山、空気、各々の動植物、また目に見えないものたちも多く存在しています。

宇宙から見たら、地球は一つの星で、一つの国家です。

人間は皆、地球人です。

それだけです。

そして地球人の中には、宇宙から来た魂の人がいますから、「すべては混沌としての中である」のが、本当の姿なのかもしれません。

また現代の感覚の人間にとって、どこからか搾取して繁栄するのではなく、毎日少しの愚痴を言いながら、人生を楽しく、仲良

く暮らしていきたい。

それだけです。

人間として、この世に生まれるということは、どういう意味を持っているのでしょうか。

人は、肉体と魂と精神の3つの要素から成り立っていますが、肉体と魂のバランスにより、人それぞれの精神が形成されます。

人は、魂を肉体の中に持ちますが、肉体を持つことにより、108の欲が生まれます。

魂は無欲でも、肉体が欲を持ちます。

人間で生きるということは、この世で生を授かったときから、魂と肉体の相反する性の狭間で、生きるということになります。

必然的に、苦悩が生まれます。

そしてこの世に生まれたということは、人間界で修行をして、肉体と魂の統合を目指すために、来たということになります。

修行するのはつらいところがあります。

ただ、本来の目的はそうです。

人間誰しも、苦勞や困難を避けたいのが本心です。

苦勞にもいろいろあるので、一概には言えませんが、苦勞をすることを取ったほうが、先々に希望が多く、光が溢れている場合もあります。

私は、弟の死により、今までの私の人生に、終止符が打たれました。

しかしそれはまた、自分の中で、死と再生を経験して、私の新たな人生、魂が望む道へ進むための、軌道修正でもありました。

時や次元を越えて、呼び合う弟と私の魂のこの物語が、皆さんの人生に、味わい深い彩りを足し、もっと光を差すことができたら、幸いです。